

**北海道横断自動車道(端野～高野間)の
地域意見聴取について**

報道発表資料

国土交通省 北海道開発局



平成30年6月8日

北海道横断自動車道網走線（端野～高野間）の計画について

地域の意見聴取（第2回）を実施します

～皆さまの御意見をお聞かせください～

網走開発建設部では、北海道横断自動車道網走線（端野～高野間）の計画について、地域の皆さまや道路を利用される方からの御意見を道路計画に反映するため、アンケート及びヒアリング調査を行いますので、御協力をお願いします。

<地域の意見聴取概要>

端野～高野間のルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についての御意見をお伺いします。

1 アンケート調査

調査票 北見市、美幌町、大空町、網走市の各自治体にお住まいの各世帯から無作為抽出させていただきます。調査票を配布いたします。また、4自治体の役所、役場及び道の駅（メルヘンの丘めまんべつ）に調査票を備え付けます。

回答方法 ①返信用はがきによる回答

- ・最寄りの郵便ポストへ
- ・北見市役所、美幌町役場、大空町役場、網走市役所及び道の駅（メルヘンの丘めまんべつ）の回収ボックスへ

②インターネットによる回答（網走開発建設部HPからアクセスできます）

- ・URL http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/icrceh000000557q.html

実施期間 平成30年6月11日（月）から6月29日（金）まで



2 ヒアリング調査

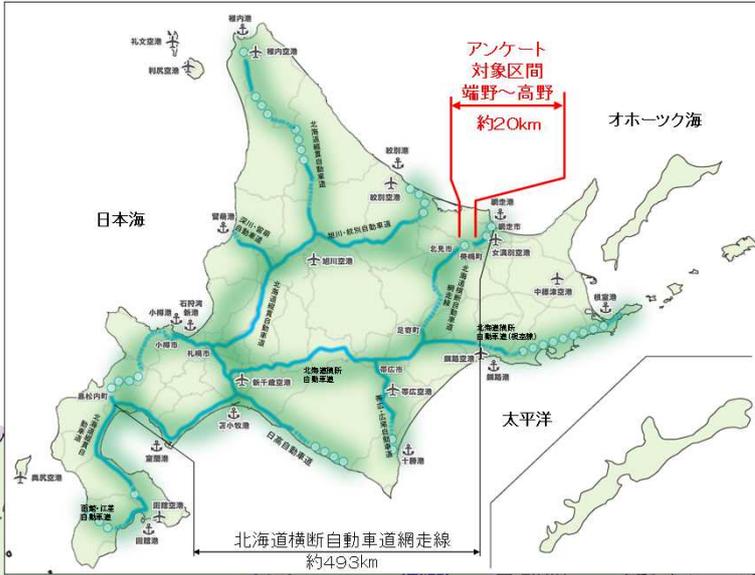
関係自治体や関係団体、事業者、観光客の皆さまにインタビュー形式のヒアリングを実施します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課 電話 0152-44-6510
道路計画課 道路計画課長 坂井 豪紀（内線 351）
道路計画課 道路調査官 小川 達也（内線 477）
網走開発建設部HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>



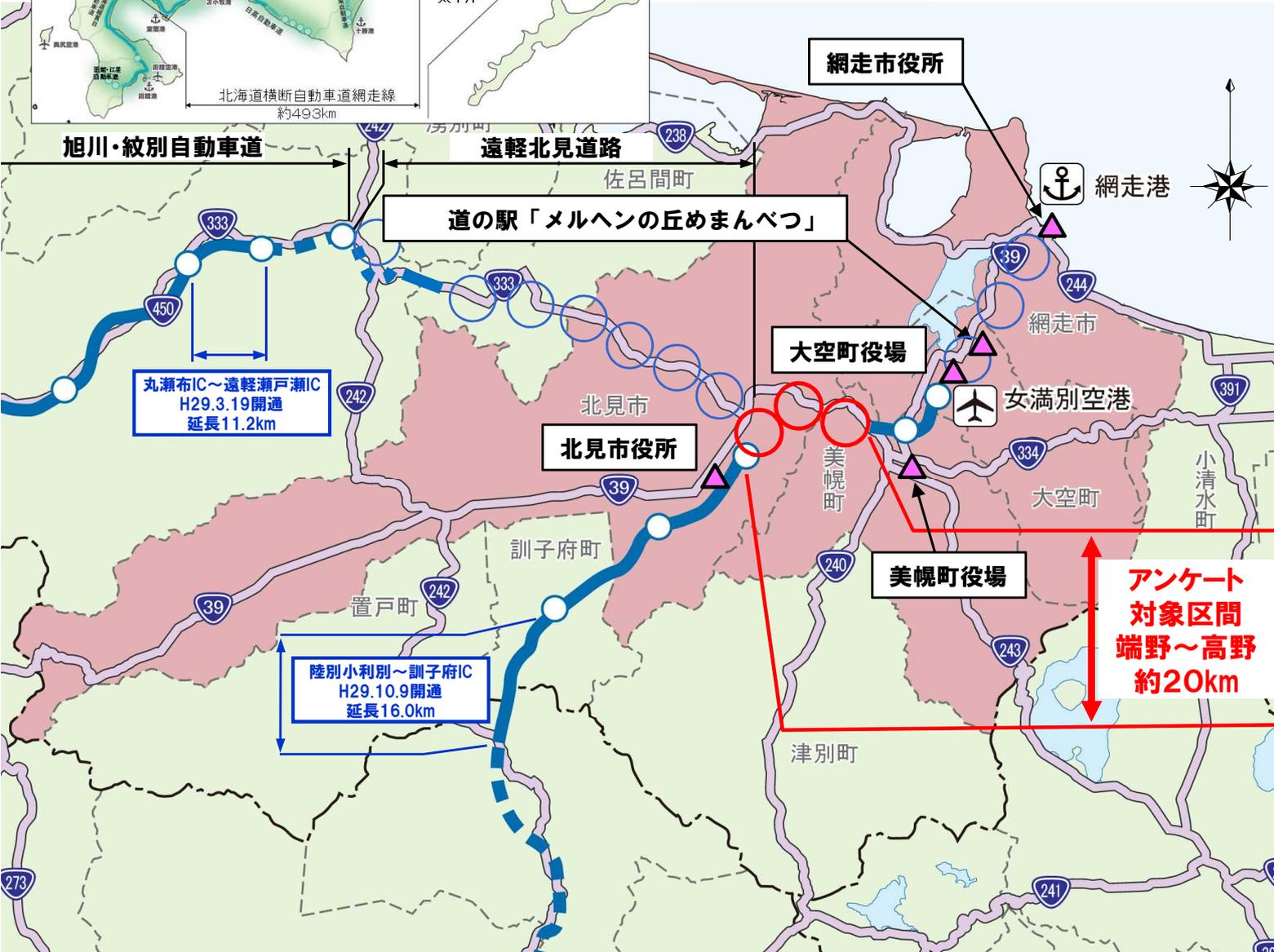
アンケート配布地域及び回収ボックス設置箇所

設置場所	
市役所・役場	北見市役所、美幌町役場、大空町役場、網走市役所
道の駅	メルヘンの丘めまんべつ



凡例	
アンケート 配布地域	■
回収ボックス 設置箇所	▲

凡例	
開通区間	——
事業中区間	■■■■
調査中区間	○○○○



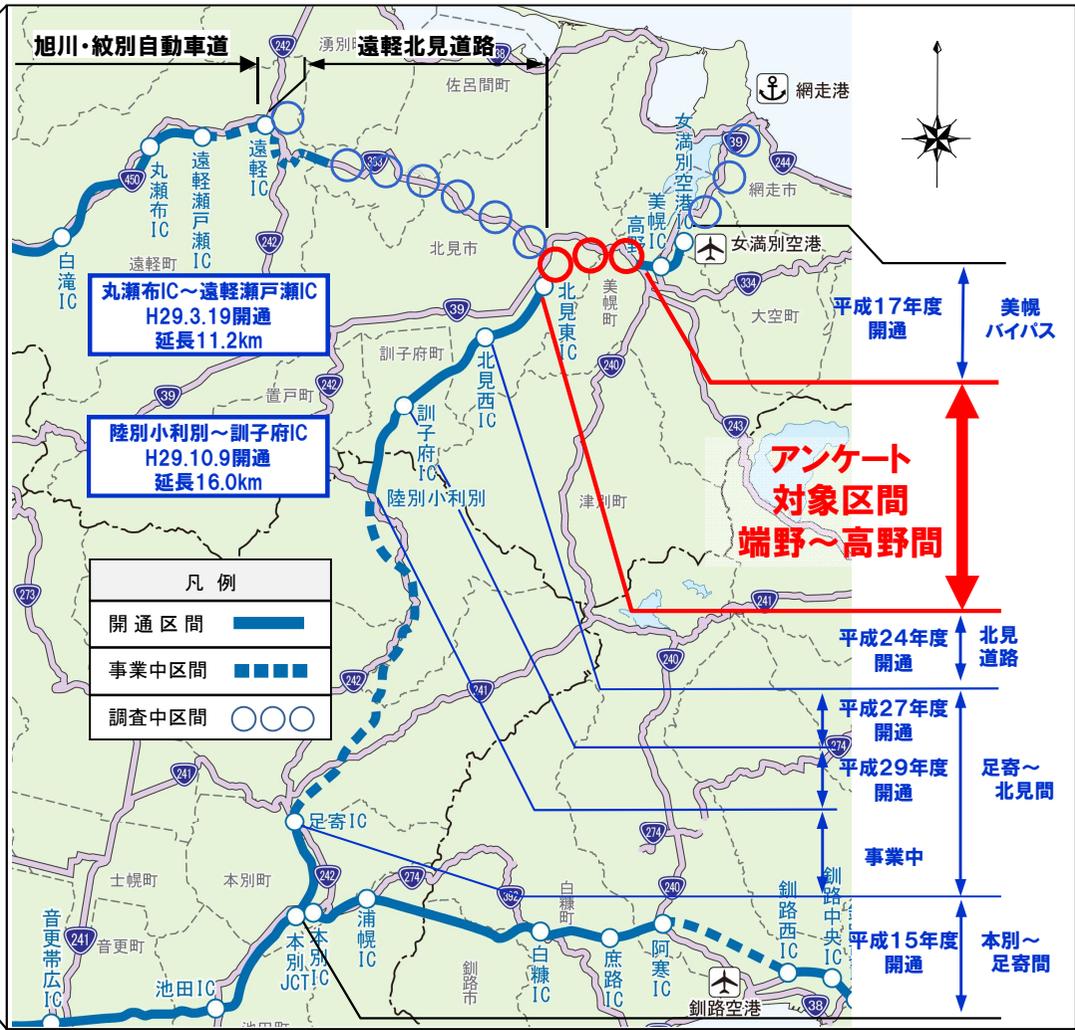
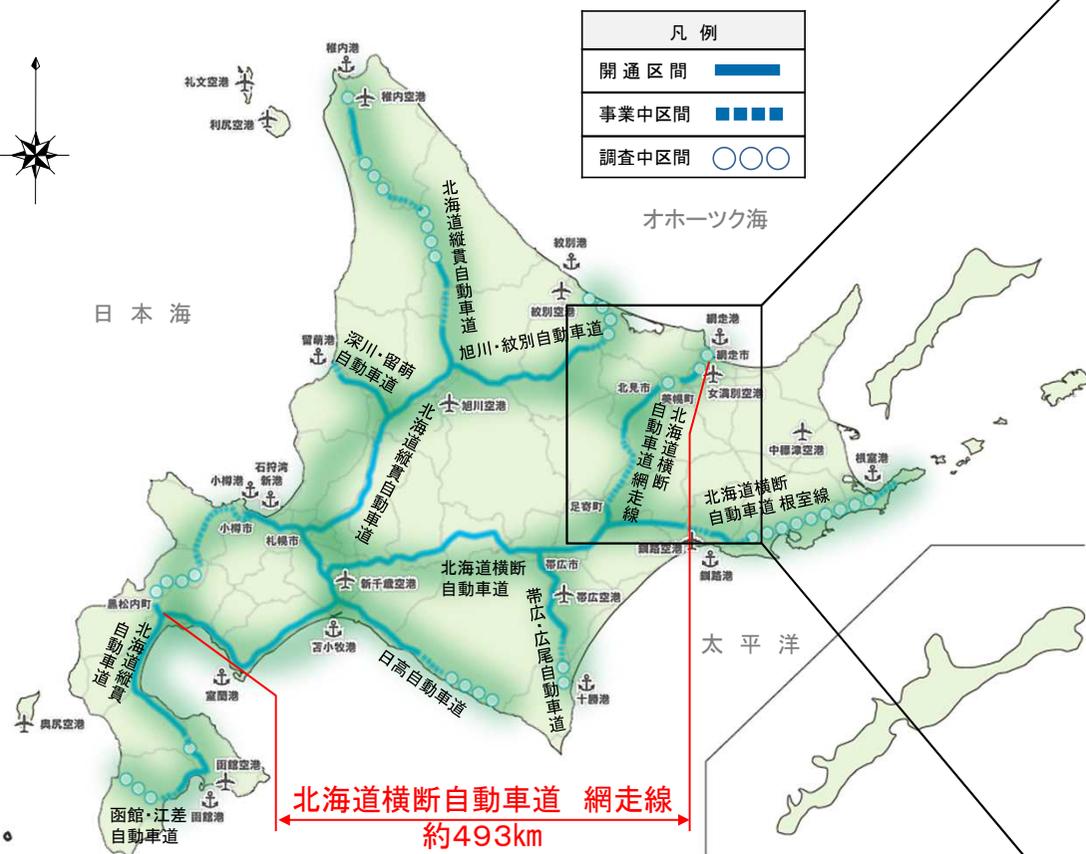
北海道横断自動車道 網走線（端野～高野間）における 道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道 網走線は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市、北見市等を経由し、網走市へ至る延長約493 kmの高規格幹線道路です。平成29年10月には陸別小利別～訓子府ICが開通し、オホーツク圏と道央・十勝・釧路圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流の効率化等の支援を主な目的として整備を進めています。

本アンケートは、北見市端野～美幌町高野間の計画検討にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆さまへ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。平成29年8月～9月に実施しました第1回意見聴取では、地域の皆さまが日頃感じられている地域の課題や、必要な道路機能等についてご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きします。アンケートにご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

■このアンケートでは、端野～高野間のことについてお伺いします。



オホーツク地域の目指す姿と概況

オホーツク圏における国道39号は、物流拠点や高次医療拠点が集積する圏域最大の都市である北見市と、総合振興局や重要港湾網走港を有し、流水観光も盛んな網走市を結ぶ基幹ルートです。

また、沿線には大規模な農業出荷拠点を有する美幌町、女満別空港を有する大空町があり、農水産物流や観光アクセス、救急搬送など様々な交通が利用するなど、オホーツク圏内の重要路線となっています。

このような中、現在の地域や道路の状況から、地域の将来を見据えた改善すべき課題（道路に関して）は、以下のように考えられます。

地域の課題		
農業・水産業支援（物流）	観光支援（人流）	暮らし（医療）
<ul style="list-style-type: none"> ○オホーツク圏は、日本でもトップクラスの食糧供給基地であるが、物流拠点間の距離が長く長距離輸送が必要 ○主要産品の出荷は秋から冬に偏り、貨物自動車が増加傾向にある中、輸送効率化が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○オホーツク圏は、知床や流水等の観光資源が多くあり、広域観光周遊ルートの一部を形成 ○地域が世界水準の観光地形成に向け取り組む中、広域観光の周遊性向上が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○オホーツク圏の病院は、医師・病床数が減少傾向で高度医療を北見市へ依存するが、カバーする面積は全国平均の約4倍と広大 ○北見市を中心とした医療圏域を形成するには北見市への速達性が課題

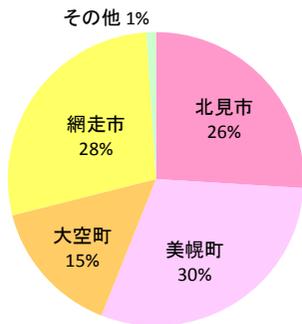


第1回アンケート調査の結果

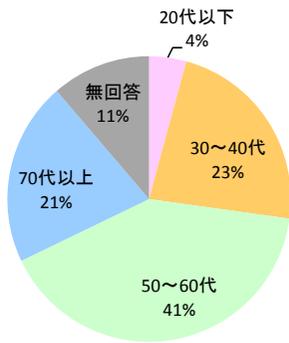
アンケート調査では、地域の住民や道路を利用される方などから、6,238件の回答をいただきました。

回答者の居住地、年齢、運転頻度、端野～高野間の利用頻度、利用目的

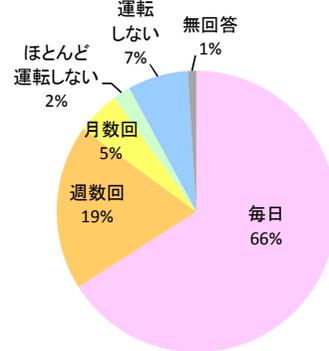
▼居住地



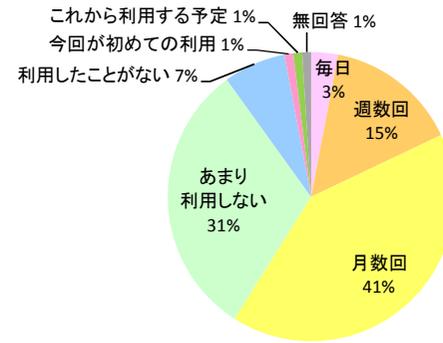
▼年齢構成



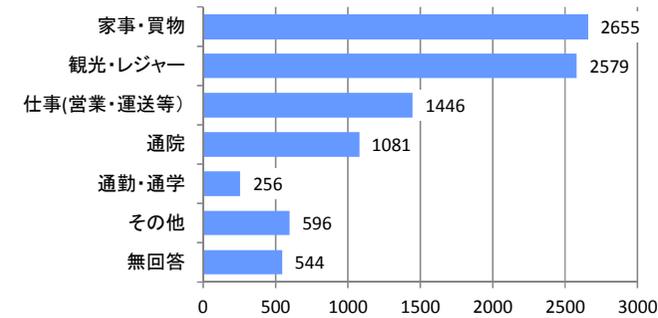
▼自動車の運転頻度



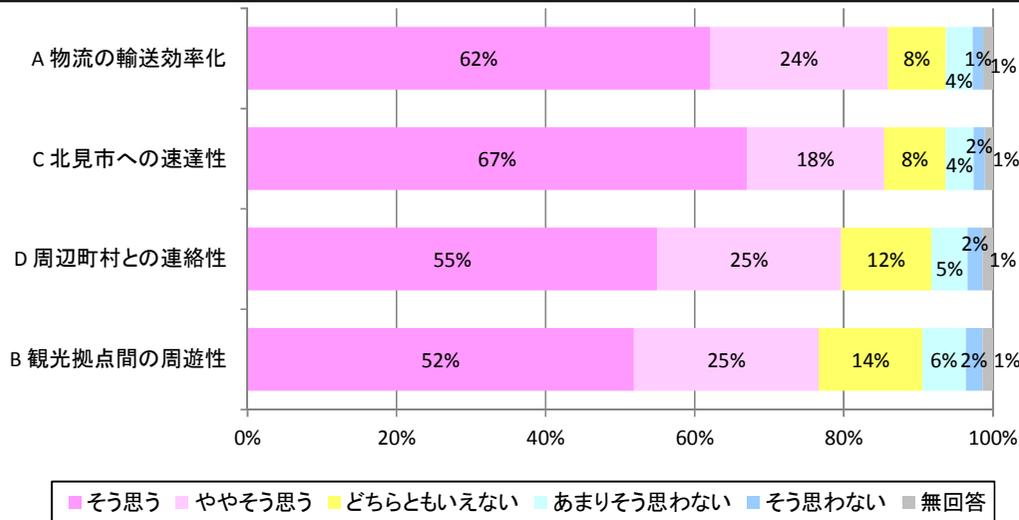
▼端野～高野間の利用頻度



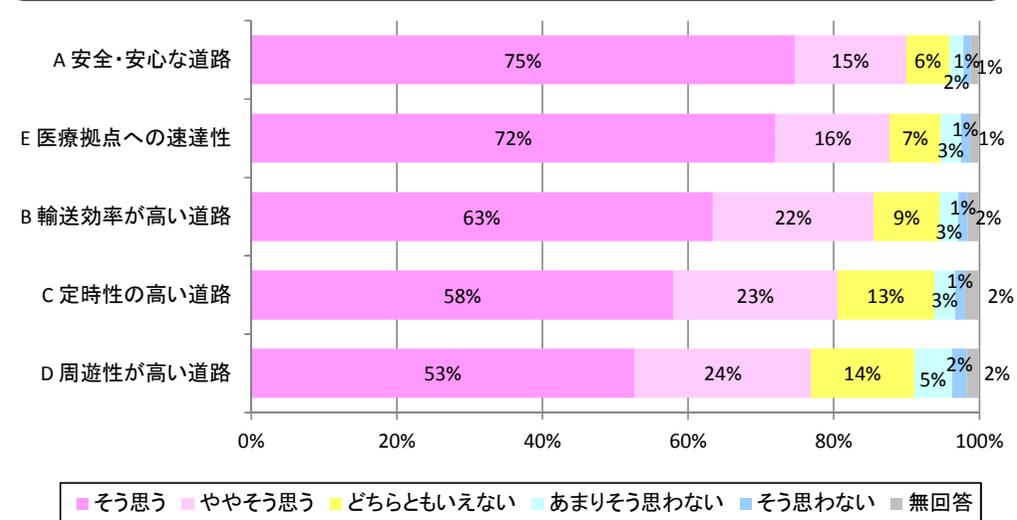
▼端野～高野間の利用目的



将来を見据えた地域の課題



端野～高野間に必要な道路機能



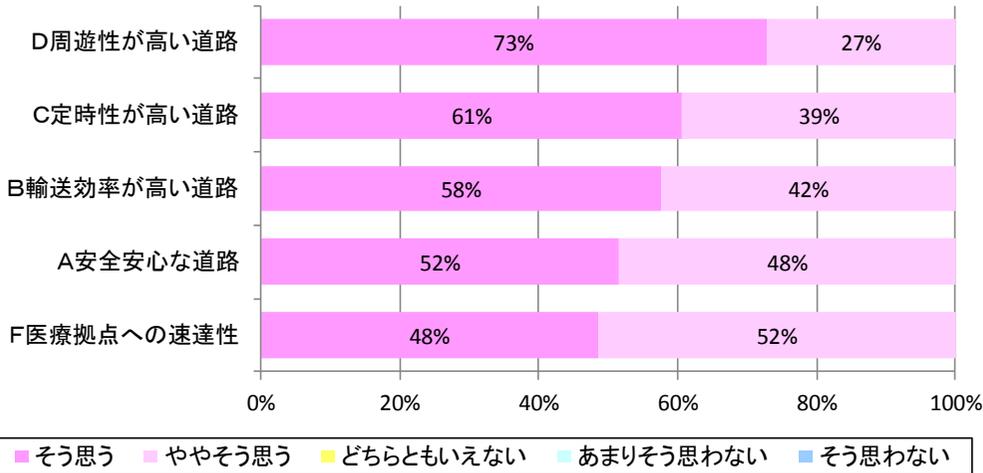
将来を見据えた地域の課題は、特に、「物流の効率化」や「北見市への速達性」が課題であるとの回答をいただきました。

端野～高野間においては、特に「安全・安心な道路」や「医療拠点への速達性」が必要であるとの回答をいただきました。

第1回アンケート調査の結果

ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から33件の回答をいただきました。

端野～高野間に必要な道路機能



端野～高野間においては、特に「周遊性が高い道路」や「定時性が高い道路」が必要であるとの回答をいただきました。

テーマ	主な意見
安全・安心な道路	・国道39号美野峠付近や緋牛内付近では、冬期の吹雪時が非常に危険であり、事故も発生していることから、安全な道路が必要である。【自治体】
輸送効率が高い道路	・物流業界では、労働時間や運送業法の規制の影響により、現状の運賃体系のままでは今後運び切れないと危惧している。少しでも時間短縮が図れることが、問題解決の一助となる。【商工会議所・商工会】
定時性の高い道路	・空港連絡バスの利用は、北見方面の利用客が多く、定時性の確保が求められる。【自治体】
周遊性が高い道路	・広域連携、広域物流、広域観光においては高規格道路が重要である。【自治体】
医療拠点への速達性	・医療拠点である北見赤十字病院へいかに早く到着できるかが求められており、周辺首長も人の命をつなぐ道と訴えている。【自治体】

第1回アンケート調査のまとめ

○多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。

○特に、物流の安全性や効率化、周遊性、医療拠点への速達性に対して多く回答を頂きました。

頂いた意見を踏まえ政策目標を設定しました

端野～高野間に必要とされる政策目標

安全かつ効率的な物流ルート確保による「地域を支える基幹産業の生産性向上」

周遊性が高く定時性の確保による「ひがし北海道の広域観光周遊促進」

医療拠点への速達性向上による「地域の安心できる暮らしを確保」

課題解決のための対策案

○第1回地域意見聴取で地域の課題、端野～高野間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような3つの対策案を設定。

政策目標

安全かつ効率的な物流ルート確保による「地域を支える基幹産業の生産性向上」

周遊性が高く定時性の確保による「ひがし北海道の広域観光周遊促進」

医療拠点への速達性向上による「地域の安心できる暮らしを確保」

政策目標達成に必要な機能

○交通事故が少なく安全・安心な道路
○走行性が高く輸送効率が高い道路

○拠点都市と空港のアクセス性が高い道路
○各方面への周遊性が高い道路

○高次医療施設のある北見市への速達性が高い道路

○災害時にも機能する代替性の確保

配慮すべきポイント

・地域への影響

・環境への影響

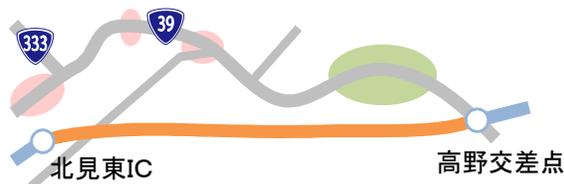
・工事中の影響

・経済性

3つの対策案と整備イメージ

- 凡 例
- : 市街地・集落
 - : 峠
 - : 現道
 - : 別線整備
 - : 現道活用

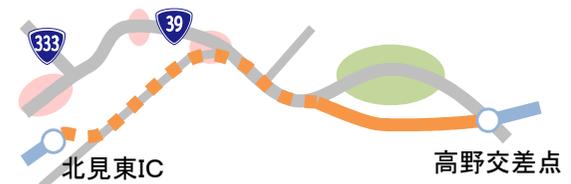
【別線・短絡ルート】
北見～女満別空港のアクセス向上を重視したルート



【別線・アクセス配慮ルート】
北見～女満別空港の他に遠軽・旭川、各湖方面など周辺道路へのアクセスも考慮したルート

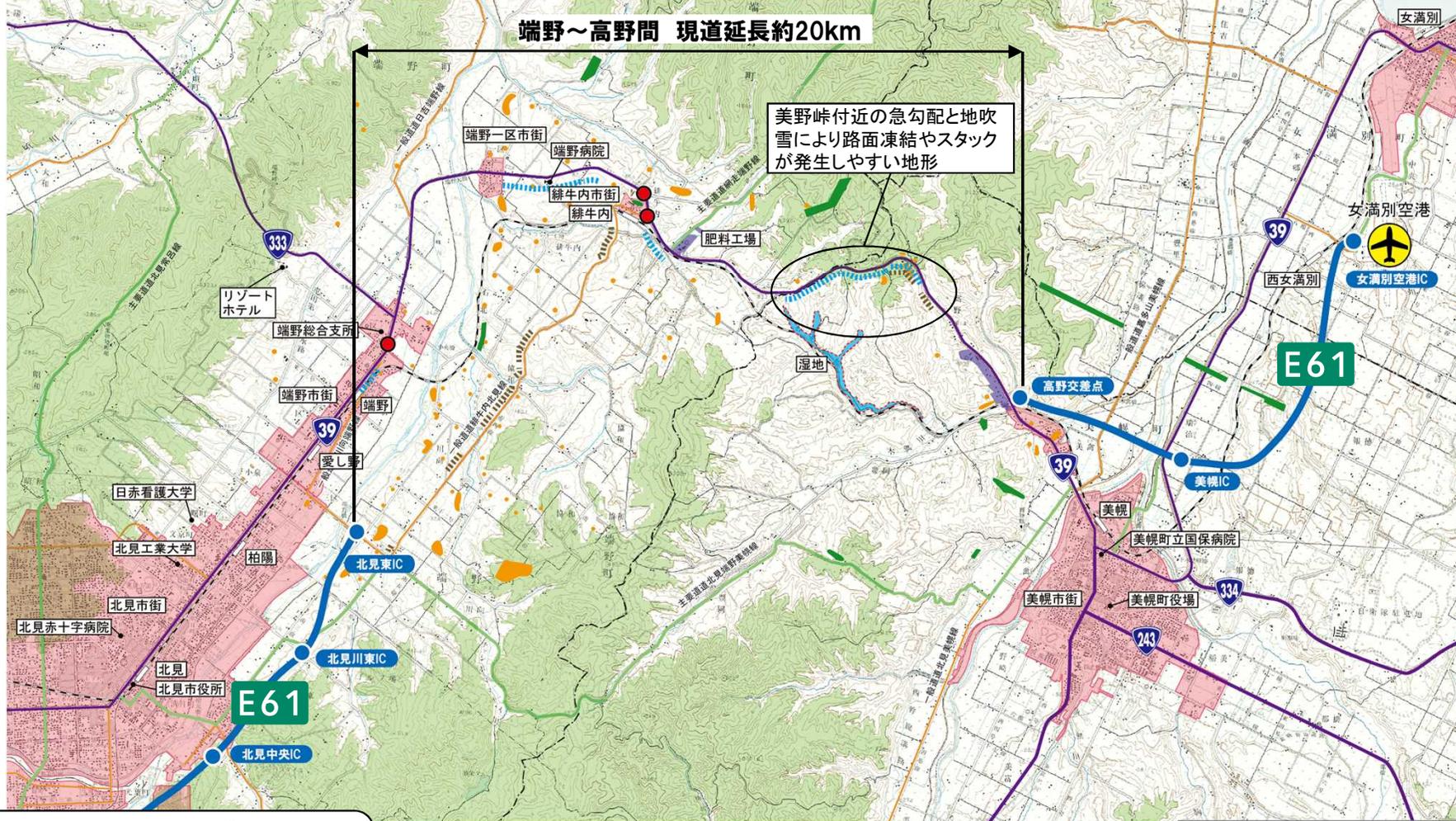


【現道活用・一部バイパスルート】
現道を部分的に活用し、局所的な改良を行うルート



対策案のコントロールポイント

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、市街地・集落等の社会的状況や史跡・遺跡、自然環境、環境関係法令等に基づく箇所や周辺道路へのアクセスに配慮。



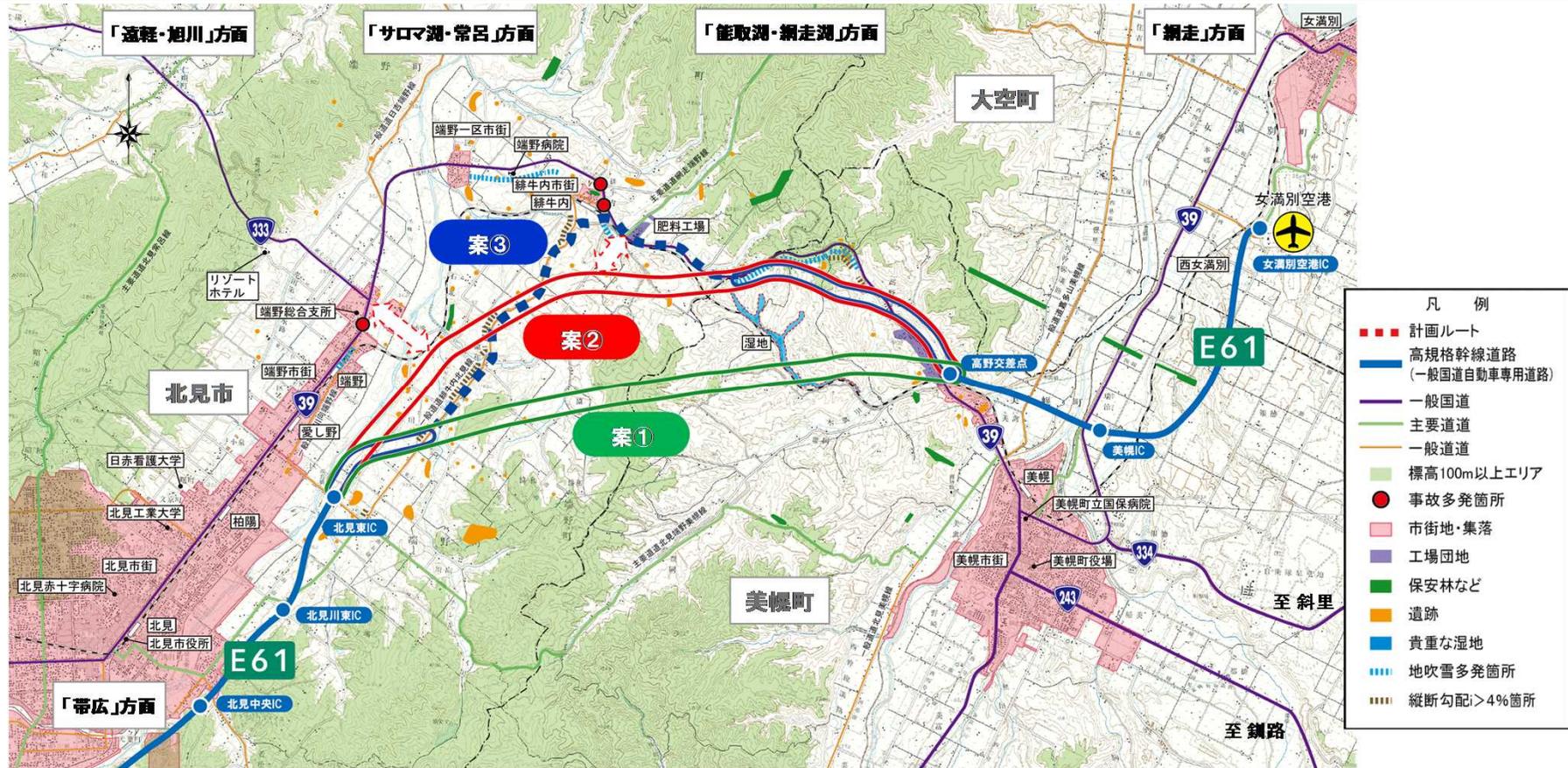
配慮するコントロールポイント

回避すべき施設等 (社会的状況による要因)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地（都市計画区域）や集落、工場団地などの建物移転 公共施設（役場、病院、学校、福祉施設等） 史跡・遺跡
配慮すべき事項 (自然環境)	<ul style="list-style-type: none"> 保安林など 貴重な湿地 地吹雪発生箇所

凡 例	
■■■	計画ルート
■	市街地・集落
■	工場団地
■	保安林など
■	遺跡
■	貴重な湿地
■	地吹雪多発箇所
■	縦断勾配>4%箇所
■	事故多発箇所

対策案の比較

○政策目標達成に必要な機能とその他の配慮すべき事項を踏まえ、3つの対策案を設定しました。



	【案①】別線・短絡ルート	【案②】別線・アクセス配慮ルート	【案③】現道活用・一部バイパスルート
ルートの考え方	北見～女満別空港のアクセス向上を重視したルート	北見～女満別空港の他に遠軽・旭川、各湖方面へのアクセスも考慮したルート	現道を部分的に活用し、一部局所的な改良を行うルート
整備イメージ			

対策案の比較表

対策案の考え方		【案①】別線・短絡ルート	【案②】別線・アクセス配慮ルート	【案③】現道活用・一部バイパスルート	
		北見～女満別空港のアクセス向上を重視したルート	北見～女満別空港の他に遠軽・旭川、各湖方面へのアクセスも考慮したルート	現道を部分的に活用し、一部局所的な改良を行うルート	
整備イメージ					
区間延長		約13km（自動車専用道路）	約14km（自動車専用道路）	約16km（自動車専用道路＋現道改良）	
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による「地域を支える基幹産業の生産性向上」	<ul style="list-style-type: none"> ・通過交通と生活交通の分離により安全性が向上する ・事故多発箇所を回避できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・通過交通と生活交通の分離により安全性が向上する ・事故多発箇所を回避できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現道改良区間では交通安全対策により安全性が向上する ・事故多発箇所を回避できる 	
	走行性や輸送の効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・急勾配箇所を回避できる ・地吹雪発生箇所を全て回避できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・急勾配箇所を回避できる ・地吹雪発生箇所を全て回避できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・急勾配箇所を回避できる ・地吹雪発生箇所が一部回避できない 	
	周遊性が高く定時性の確保による「ひがし北海道の広域観光周遊促進」	<ul style="list-style-type: none"> ・北見市と空港のアクセス性 ・遠軽町や網走市など各方面への周遊性 	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別空港と北見市が直結し、所要時間が最も短縮できる ・各方面への接続が困難でありアクセス向上は図られない 	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別空港と北見市が直結し、所要時間が短縮できる ・遠軽・旭川、サロマ湖、能取湖など各方面へのアクセス向上が図れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別空港と北見市は直結せず、所要時間があまり短縮できない ・現状とほぼ変わらない
	医療拠点への速達性向上による「地域の安心できる暮らしを確保」	高次医療施設への速達性	<ul style="list-style-type: none"> ・北見市60分圏域内人口が増加する ・2次医療施設がある網走市が圏域内になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・北見市60分圏域内人口が増加する ・2次医療施設がある網走市が圏域内になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・北見市60分圏内人口はあまり増加しない ・2次医療施設がある網走市が圏域外のまま
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や施設等への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋等への影響は小さい ・工業団地を横断する 	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋等への影響は小さい ・現道改良区間では農耕車等との輻輳により交通混雑 	
	環境への影響	自然環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地のほか、貴重な湿地帯を通過するため案③に比較して大きくなる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地を通過するため案③に比較して大きくなる可能性がある 	
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中の現道への影響は小さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中の現道への影響は小さい 	
	経済性	工事内容と経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・区間延長は短いが山地部を通過しトンネル構造となり経済性に劣る 	<ul style="list-style-type: none"> ・区間延長は案①に比べ長くなるが、土工バランスが図られ経済性に優れる 	
		約590～650億円	約460～500億円	約300～340億円	

北海道横断自動車道端野～高野間に関するアンケート

回答は返信用ハガキに記入し、平成30年6月29日(金)までに郵便ポストに投函してください。

■質問内容・解答欄

質問1 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 通過交通と生活交通の分離	1	2	3	4	5
B 地吹雪発生箇所の回避	1	2	3	4	5
C 北見市と女満別空港間の所要時間の短縮	1	2	3	4	5
D 観光周遊性を高める連続した自動車専用道路	1	2	3	4	5
E 各方面（国道333号や道道網走端野線）へアクセスしやすいこと	1	2	3	4	5
F 北見市の医療拠点へのアクセス	1	2	3	4	5

質問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設等への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5

質問3 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

北海道横断自動車道端野～高野間に関するアンケート

- ・回答は同封の郵便はがきに御記入ください。
- ・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお投函は、平成30年6月29日（金）までをお願いします。
- ・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
北海道横断自動車道 網走線 端野～高野間 道路計画に関する意見聴取 Web回答用ページ
URL http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/icrceh000000557q.html
※網走開発建設部ホームページからもアクセス可能です。



アンケートの記入例

郵便はがき

0 0 0 0 0 0 0

料金受取人払郵便



北海道網走市 新町2丁目6番1号
網走開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道(網走線)端野～高野間
道路計画に関する意見聴取係 行

差出有効期間
平成31年3月
31日まで
(切手不要)

見本

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○印）

住所 〒000-0000 北海道 北見市 端野町

性別 ①男性 ②女性 年齢: 50 歳代

職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業
⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業
⑫無職 ⑬その他 ()

■自動車運転する頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道39号端野～高野間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④あまり利用しない ⑤利用したことがない

■端野～高野間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）

①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事(営業・運送等)
⑤観光・レジャー ⑥その他 ()

■前回の第1回目アンケートに回答しましたか（どちらかに○）

①回答した ②回答していない

北海道横断自動車道(端野～高野間)第2回アンケート 回答欄

質問1. 対策案の比較にあたって、設定した道路機能をどの程度、重視すべきだと思いますか？

以下のA～Fの項目について、該当するもの1つに○をつけてください

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A通過交通と生活交通の分離	①	2	3	4	5
B地吹雪発生箇所回避	1	②	3	4	5
C女満別空港への所要時間の短縮	1	2	③	4	5
D自動車専用道路の連続した周遊性	1	2	3	④	5
E各方面(国道333号や道道網走端野線)へアクセスしやすいこと	1	2	3	4	⑤
F北見市の医療拠点へのアクセス	1	2	③	4	5

質問2. また、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

以下のA～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけてください

	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A家屋や施設等への影響が小さいこと	①	2	3	4	5
B自然環境への影響が小さいこと	1	②	3	4	5
C工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	③	4	5
D建設に要する費用が安いこと	1	2	3	④	5

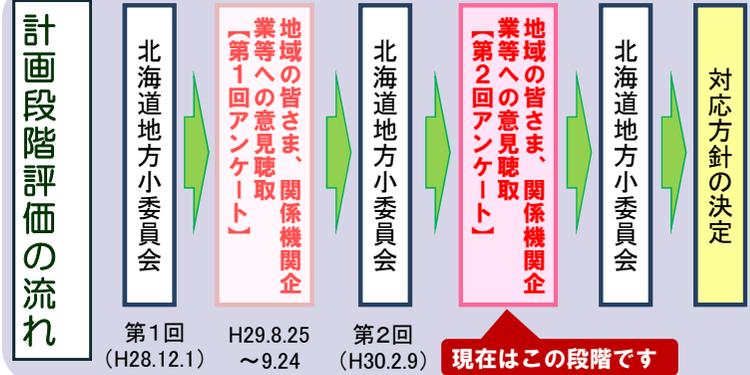
質問3. その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

.....

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課
北海道横断自動車道 網走線 端野～高野間
道路計画に関する意見聴取係

〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号

電話 0152-44-6510



国土交通省

安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。



本調査は、オホーツク圏北網地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者の御意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます）